



あけましておめでとうございます

2019 (平成31)年 元旦

ウィズ広島、23年目の初心

— 新年寸感 —

山田 勘一

更生保護法人ウィズ広島 理事長

新年を迎えるにあたり、老いの感慨か、「老後の風体に似合うことを習うは、老後の初心なり」と言った能役者世阿弥のことばが思い出されます。そして、しなければならない大事なことを放っておいて老後の初心といえるか(意訳)と、言い切ります。賛嘆し、まずは皆さまとともに健やかに2018年の新年を迎えますことを心から喜んでいきます。

博光寮からウィズ広島へ名称を変え、そしてカウンセリング、SST、コラージュ作成会等処遇の施設化に踏み切って23年、その初心を思うとき、はじめ目新しく感じた処遇や支援のありようが今、初心を失っているのではないか、犯罪をしたために、安心できる居場所を失い孤立している利用者、退所者の思いに今、私は、応えているのかという思いが多くなりました。そしてその日々のなかで私がめざしたいのは、補導職員、ボランティア、カウンセラーが一体となつてつながり、利用者、退

所者一人ひとりともっとかかわる、ケアとしての更生保護施設の処遇や支援です。利用者、退所者にかかわり、時に錯誤し、時にわかり合い、分かち合い、互いに納得するとき、はじめて互いはふかく頷くのだと思います。そして、ケア=思いを実現することをたすけるのは、退所者のためだけにあるのではなく、私との《間》にあるのだと知のです。新しい年は《もっと関わる》をキーワードに、多くのボランティアの方々、

役職員、協働してこれからの時代を切り拓いていきたいと考えます。

そして今年、いよいよ念願の別館女性居室棟の建設事業にかかります。当初、県民の皆さまにお願いしようとした建設資金づくりは、折からの西日本を襲った豪雨災害に直面して一時、断念しようと思しました。しかし、国をはじめ関係する皆さまのご支援をいただき、あきらめず推進したおかげで明るい見通しになりました。とりわけ広島県更生保護女性連盟から託された、身に余る寄付金は建設事業推進の大きな活力源になりました。別館女性居室棟は、狭い一室に二段ベッドで暮らす女性利用者の自立ニーズに手をさしのべる救命ポートとして、女性の利用定員増を決意したものです。ケアとしての別館女性居室棟建設に向けていよいよ実施設計づくりに入ります。引き続き皆さまのご指導、ご支援をお願いいたします。



わきあいあいと2019年を迎える、ウィズ広島スタッフ

2019.1.1

■ウィズ広島役員等

【顧問】浅尾幸正【参与】永田雅紀
 【理事】山田勘一(理事長)、山田一夫(副理事長)、畠山昭雄(常務理事)、嘉屋 進(常務理事)、織建末子、中島和雄、和泉 眞、林 千秋、藤島秀孝、古屋由利子
 【監事】柳原芳樹、随行克之

【評議員】慶徳こすえ、木本正志、井町重遠、山本隆照、繁政秀子、平口さとみ、久保加代子、楠本次子、大野宣江、新宅典明、西田志都枝、内海幸一、石森雄一郎、岸本三悦子

■ウィズ広島職員

【施設長】稲垣 宏【事務長】小根森敬子

【補導主任】竹岡靖宏、藤原一喜
 【補導員】田中博敏、沖村和夫
 【福祉専門員】岡本進佑、鹿嶋知之、松尾能子
 【薬物専門員】野澤 忍、高杉敬一、田坂典子
 【事務員】玉井信子【調理主任】吉和栄枝
 【調理員】江藤民子【非常勤】吉和真奈美

利用率微減、受入れ利用者の回復をめざす

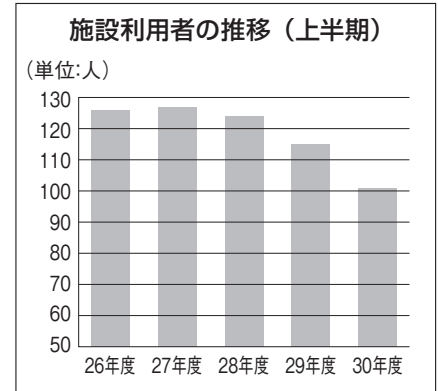
2018 (平成30) 年度 上半期 (30.4~30.9) 連結事業成績の状況

◆利用者人数

平成30年度上半期に宿泊した利用者の実人員は、前年同期に比べ14人減り101人でした。その内訳は、仮釈放者、執行猶予を受けている救護・援護者が82人（うち女性24人）、刑が終了した人など更生緊急保護者が19人（うち女性1人）でした。

単位：人

上半期年度	救護・援護者	更生緊急保護者	任意保護者	合計数
26年度	120	5	1	126
27年度	108	15	4	127
28年度	115	7	2	124
29年度	105	10	0	115
30年度	82	19	0	101



- *救護・援護者とは、仮釈放などで保護観察中の人
- *更生緊急保護者とは、満期釈放者、起訴猶予者等
- *任意保護者とは、ウィズ広島が任意に保護する人

単位：万円

2018 (平成30) 年度 上半期 (30.4~30.9) 連結収支 (一般会計と特別会計合算) の状況

収入 6,021万円 支出 5,358万円 繰越金 663万円

◆収入

平成30年度上半期の連結収支の状況は、前年度上半期と比べて、収入総額で4.0%、232万円増えました。

この要因は、更生保護委託費が前年度に比べ7.2%、343万円増えたことによります。

ちなみに、特別会計の賃貸駐車場収入は136万円、太陽光発電供給収入は37万円でした。

◆更生保護委託費収入の推移

単位：万円

年度(上半期)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
収入	4,428	4,145	4,750	4,761	5,104

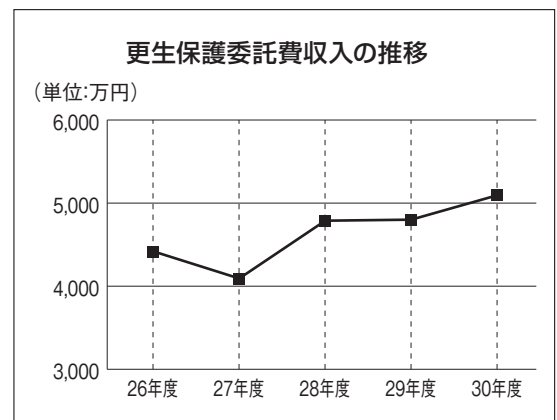
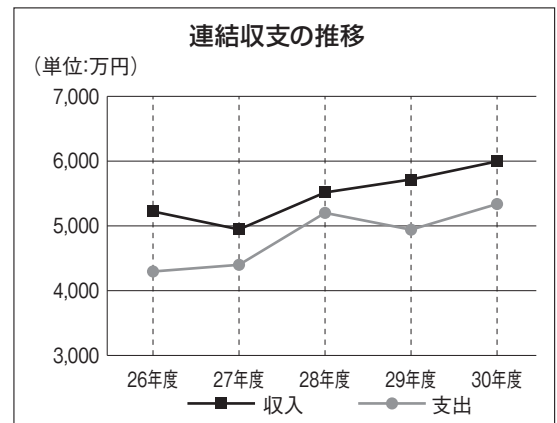
更生保護委託費は、利用実人員減にもかかわらず、委託費単価改定及び福祉職員配置分にかかる委託事務費増等により、前年同期に比べ343万円増えました。

◆支出

連結の支出は、前年同期に比べ8.1%、401万円増えました。その要因は、平成30年1月に補導員（福祉専門職）1名採用したことによる人件費の増額、調理機器の補修費の増加が主な要因といえます。

単位：万円

年度(上半期)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
収入	5,239	4,937	5,629	5,789	6,021
支出	4,306	4,403	5,211	4,957	5,358



利用者、退所者のみなさんと交流して感じたこと 更女給食活動等を通して

ウィズ広島の夕食作りに行ったことのことです。ある男性の利用者の言葉が忘れられません。「忙しいのに、家族もいるのに、ぼくたちのような者に美味しい食事を作ってくれて、うれしい。そしてありがたい気持ちで、二度と刑務所に帰るようなことは繰り返しません」と。

私たちは、出来るだけその季節の旬のもので、少しでも美味しく、沢山食べてほしいと願いつつ作っている食事ですが、その言葉をきいて、私たちが調理室に立っている姿をみて何かを感じとられたのでしょうか？利用者の方に母親・おばあちゃんの役割が感じてもらえただろうか、私たちの姿をみて感謝の気持を表してくださった、その言葉に何とも言いようのない温かい心を

感じました。

また、恒例になっているクリスマス交流会の後半、ジングルベルではじまる音楽会もおおいに盛り上がり、参加者のほとんどがそれぞれに得意な歌を歌ってくれます。何よりうれしいことは、当初は、途中から一人減り、二人減りと退室する人がいましたが、今はそれもなく、全員最後まで楽しんでもらえるようになり、温かなひとときとなっています。でも、最後に歌う“ふるさと”の歌では、目頭を押さえる姿を目にすると何とも言いようのない感傷を覚えます。このように、私たち更女は、3月には、雛祭りの食事会を、県更女正副会長が、5月の端午の節句は、幟建県連会長、広島市連絡協議会役員が、12

月のクリスマス会は、同じく広島市連絡協議会役員が、また毎月1～2回の給食活動は広島市内の8地区が輪番で、近郊地区の方等も随時参加して給食活動をしています。

私たち更女活動のうち、更生保護施設の支援は大きな活動です。罪を犯したために安心できる居場所を失ったウィズ利用者に、だれでもが温かい雰囲気を受け、だれもが家族だと感じられるように寄り添い、立ち直りますよう支援をするのが更女の役割だと思います。だれもが、人として心豊かに生きられることを願いながら…。

広島県更生保護女性連盟
副会長 久保加代子



幟建県更生保護女性連盟会長と広島市8地区の会長等による、心のこもった手作りのクリスマス会料理



クリスマス会の食事風景。この後にケーキが配られ、合唱などで盛りあがる

人事異動

退職

平成30年8月31日付けで、辰本尚子薬物専門員が、一身上の都合で退職しました。

採用

平成30年12月1日付



田坂 典子

たさか のりこ

1986年12月生

公認心理師

精神保健福祉士
(薬物専門員)

コメント

12月から勤務となりました。利用者の方と一緒に考え、その人のニーズに合わせて取り組んでいければと思います。手探りの日々、至らぬ点もあると思いますが頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

写真で振り返る (2018年 6~12月) 支援プログラムと地域連携



1か月のひとり暮らし生活費はいくら必要か、現実にはいくら収入があるか? ワークシートで考える、くらしの知恵塾&カフェ



今日は、SST (社会生活技能訓練)! 役割を演技し、みんなで支持し合い、修正し、よりよい「断わり方」を学ぶ。練習メニューは「借金の申し込みを断る」



机の上の雑誌から、気になる写真や絵を切り抜き、台紙に貼り付け、今の自分を表現する、コラージュ作成会



退屈な昼下がり、利用者、退所者も集い、ボランティア提供の抹茶を飲み、お菓子を食べながら談話するウィズカフェ



医療・福祉関係機関との連絡協議会の席上、あいさつをする山田理事長



みんなでワークブック「ひま〜ぷ」を読み合い、意見交換する、薬物等使用障害からの回復支援



みんなで就労への準備をし合い、求職の情報を交換する、求職座談会



一斉にそろいのジャンパーを着て、近隣、河岸公園の清掃に出発する地域清掃活動



広島断酒ふたば会 中田克宣会長を中心に酒をめぐるわが人生を語り合い、気づく、ウィズ(やよい)断酒会

処遇施設ウィズ広島の現在、そしてこれから

平成の時代が終わろうとしています。振り返って、更生保護施設ウィズ広島にとって、平成とはどんな時代だったろうかと考えるとき、それはカウンセリングの導入、求職座談会、SST、コラージュ作成会などケアとしての支援プログラムの展開でした。そして今、これからのウィズ広島を展望するとき、退所した人を地域につなぎ、定着を支援すること、そのためにも利用者が安心できる居場所づくり、利用者とのかわり、信頼を獲得する営為が私たちには求められていると思います。

別館ウィズ広島女性居室棟増設の計画

補導主任 藤原 一喜

ウィズ広島は、中四国地方で唯一女性を受け入れる施設として2004（平成16）年5月に誕生しました。

近年の人口減少傾向の中、男性受刑者は漸減傾向にありますが、女性受刑者は依然高い収容率を続け、刑事施設を退所した女性の居場所探しが現実の課題となっています。ウィズ広島への入所希望者は減ることなく、この数年、ほぼ定員オーバーの状態が続いています。

このため、一人用の居室に2段

ベッドを入れて対処してきましたが、居住空間が狭くなり、心理的圧迫等から、ささいなことでの口喧嘩などが散見されるようになりました。この住環境を改善し、女性利用者に快適な居室を提供することが焦眉の課題となりました。

2016（平成28）年6月から理事長等役員と施設長等職員が「女性棟増設検討委員会及び検討会」を8回行い、増設による経営・処遇面など様々な角度から検討を加えてきまし

た。この結果を同年11月開催の理事会・評議員会に「女性居室棟増設に係る施設整備の件」との議案を提出し、増設の必要性を説き、増設計画推進の承認を得て今日に至っています。



(本館) (女性棟)

女性棟増設完成予想図

別館女性居室棟の規模

女性居室棟の規模等は、施設本館西側の土地に建築面積111.67㎡、延べ面積310.94㎡、鉄筋コンクリート造り3階建て耐火建築物となり、建物内は居室6室、女性食堂及び静養室兼居室、相談室、リネン室、倉庫各1室が入る計画です。

その別館女性居室棟の建設資金確保のために、平成30年9月広島県知事に、10月に広島県市町村会に対

し、趣意書を提出して助成依頼をおこないました。その後、広島県担当部長及び各市市長等を表敬訪問し、建設の必要性とその資金助成の依頼を重ねてきました。

また、平成30年11月12日に近隣説明会を実施し、建物の概要説明並びに近隣住民の視線に配慮した窓づくりや、防音、防火に配慮している旨を伝え、近隣の方々のご厚意とご

意見をいただきました。今後は、平成31年度事業の決定を待ち、具体的な建設に向けて進めてまいりたいと思います。

別館女性居室棟完成後に、入所する女性利用者の笑顔を楽しみに、この事業の無事完了を成し遂げたいと思っています。皆様のご指導とご支援をお願いいたします。



長坂住職と副住職を導師に、入所中亡くなった利用者、利用者の親族など思い思いの気持ちで行われる、恒例のお盆供養会



恩賜財団済生会広島病院 隅井院長ほか、スタッフによる定期的健康診断。その後の健康相談会も行う



リーベ（愛）の会の皆さんによる、年末28日恒例の餅つき交流会。手水不足で、速くつき上がったけど、出来上がった餅は少し固目でした

みなさまのご寄付が



① 東地区更生保護女性会の皆さんによる給食活動。メニュー：炊きこみあさりご飯、鶏から揚げ、サーモンカルパッチョ、韓国風野菜炒め等



② 大竹地区更生保護女性会の皆さんによる給食活動。メニュー：ちらし寿司、ハンバーグ、野菜ジュースのサラダ等



③ 元ウィズボランティア(宗教教誨)諏訪了我さんからご寄付。海苔、そうめんなどいただいた

寄付で振り返るウィズ広島

□2018(平成30)年6月1日から12月31日までに、皆様からお預かりしたご寄付は、次のとおりです。

6月

山田勘一：現金 20,000 円、妙覚寺慈光会：現金 5,000 円、木本正志：アイスキャンディー 48 本、広島紅葉ライオンズクラブ：タオル 44 枚・洗濯洗剤 9 個・衣類 11 点・座布団 12 枚・日用品など、匿名：衣類 195 点、平口さとみ：さつまあげ 500g・玉ねぎ 7 個、匿名：魚 4 尾・すいか 1 玉、東地区更生保護女性会：給食材料(写真①)、川瀬節子：給食材料・雑貨、安田朝一：ジュース 96 本、匿名：衣類 154 点・帽子 5 点・靴 7 点ほか、土井壽美子：抹茶・菓子(ウィズカフェ用)

7月

西井一宣：漬物 6 袋、藤原薩子：かぼちゃ 4 個・きゅうり 7 本、平口さとみ：素麺 1.5kg・海苔 400g、大竹地区更生保護女性会：現金 30,000 円・給食材料(写真②)、(株) FORESTA：現金 100,000 円、諏訪了我：海苔 8 箱・素麺 2.5kg・サラダ油 10 本ほか(写真③)、南地区更生保護女性会：給食材料(写真④)、吉川敬子：現金 30,000 円、土井壽美子：抹茶・菓子(ウィズカフェ用)

8月

一般財団法人多山報恩会：1,000,000 円(写真⑤)、畠山昭雄：現金 10,000

円、佐藤文倫：茶菓子 4 箱(ウィズカフェ用)、西地区更生保護女性会：給食材料(写真⑥)、福山地区更生保護女性会中谷：玄米 30kg、平口さとみ：いちじく 47 個・卵 10 個・マヨネーズ 500g・もみのり 400g(写真⑦)、(株)ファーストリテイリング：女性肌着 35 点(写真⑧)

9月

中地区更生保護女性会：現金 100,000 円、東地区更生保護女性会：現金 100,000 円、南地区更生保護女性会：現金 100,000 円、西地区更生保護女性会：現金 200,000 円、安佐南地区更生保護女性会：現金 100,000 円、安佐北地区更生保護女性会：現金 100,000 円、広島安芸地区更生保護女性会：現金 100,000 円、広島佐伯地区更生保護女性会：現金 80,000 円、更生保護施設たちばな会：衣類 25 点、匿名：衣類 10 点、元ホテル JAL シティ広島オーナー小山英夫：冷蔵庫(小) 10 個・グラス 30 個・ハンガー 130 本・テーブル&椅子 6 セット・鏡 2 個・絵画 10 点・シャンプーなど、佐藤文倫：落雁 32 個(ウィズカフェ用)、土井壽美子：抹茶・菓子(ウィズカフェ用)、安佐南地区更生保護女性会：給食材料、黒木至美：米 20kg、木本正志：アイスキャンディー 48 本

10月

広島県社会福祉士会：衣類 3 点、匿名：書籍 4 冊、森脇治義：ソーメン瓜 1 個・かぼちゃ 2 個、匿名：衣類 3 点、広島県更生保護女性連盟：目録(500 万円寄付)(写真⑨)、東本愛香：スティックコーヒー 30 本、辰本尚子：現金 10,000 円、土井壽美子：抹茶(ウィズカフェ用)、(株)ピックアップ：衣類 100 点、安佐北地区更生保護女性会：現金 2,000 円・給食材料、匿名：衣類 39 点ほか、大野宣江：玄米 30kg、森川恵美子：玄米 60kg、石丸 操：2 人掛けソファ一

11月

匿名：衣類 1 点、畠山昭雄：現金 10,000 円、広島安芸地区更生保護女性会：タオル 3 枚・衣類 17 点ほか、土井壽美子：抹茶・菓子(ウィズカフェ用)、佐藤文倫：菓子(ウィズカフェ用)、匿名：現金 17,000 円、匿名：柿 24 個・米 10kg、堀江洋治：切り餅 36 袋(写真⑩)、広島安芸地区更生保護女性会：給食材料、西 民恵：富有柿 5 個・菓子、道教多美子：柿 6 個・大根 2 本・かぶ 4 個、阿東地区更生保護女性会：衣類 12 点・タオル 5 枚ほか、匿名：辞書 1 冊、匿名：衣類 2 点、(有)ユピテル：コピー

利用者の未来をひらきます



4 南地区更生保護女性会の皆さんによる給食活動。メニュー：鶏肉味噌焼き、餃子、なすのおしとし等



5 毎年、多山報恩会から寄せられるご寄付。一般財団法人多山報恩会中丸理事長に法務大臣感謝状を伝達する山田理事長



6 西地区更生保護女性会の皆さんによる給食活動。メニュー：ステーキ、コーンスープ、野菜煮物、春雨サラダ等



7 平口さとみさんから、愛の定期便、地元名産古江いちじく、沢山の卵



8 女性によろこばれるファーストリティリングからの下着のご寄付



9 広島県更生保護女性連盟結成55回記念の集いで、幟建会長から寄付目録をウイズ広島山田理事長に託された

用紙 10 冊、平岡果代子：らっきょ 2 瓶、滋賀県更生保護女性会：現金 10,000 円、山田勘一：現金 20,000 円、幟建末子：ビスケット 1 箱

12 月

広島県更生保護女性連盟：おでん 40 個・かぼちゃ 7 個、藤原薩子：みかん 10kg、平口さとみ：米 4kg・りんご 5 個、嘉屋 進：現金 20,000 円、幟建末子：板こんにゃく 20 枚、広島県更生保護女性連盟：現金 25,000 円、貫名 徹：メモ帳 36 冊・ボールペン 40 本・タオル 9 枚、西地区保護司会協力組織部：衣類 19 枚・本 10 冊・タオル 50 枚・軍手 8 ダースほか、平口さとみ：袋菓子 24 袋・チョコレート 10 枚、広島紅葉ライオンズクラブ：商品券 5,000 円・衣類 60 点・タオル 21 枚・石鹸・洗剤ほか（写真⑩）、匿名：カフェ用菓子ほか、匿名：現金 10,000 円、東広島地区更生保護

女性会福富支部：手作り味噌 1kg・白菜 5 株・じゃがいも 2.5kg・白ネギ 6 本ほか、水主町食糧企業組合：素麺 2.7kg、圓妙寺：みかん 20kg、土井壽美子：抹茶・菓子（ウイズカフェ用）、佐藤丈倫：菓子（ウイズカフェ用）、藤原薩子：素麺 5.4kg・麺つゆ 3 本、福山地区更生保護女性会：現金 65,000 円、森脇治義：さつまいも 4 本、匿名：菓子、広島市地区更生保護女性会連絡協議会：クリスマス会 38 名分・クリスマスプレゼント、幟建末子：クリスマスケーキ 7 ホール、宮地真里：みかん 10kg、広島県更生保護女性連盟：現金 20,000 円、幟建末子：傘 10 本、西 民恵：みかん 3.5kg、畠山昭雄：現金 20,000 円、広島駅弁当（株）：お節弁当 40 個、匿名：現金 8,000 円、西井一宣：長芋 1 箱、宇恵一枝：現金 100,000 円



10 ウイズ広島賛助会監事堀江洋治さんからいただく、杵つき切り餅の山々



11 年2回、愛の定期便、広島紅葉ライオンズクラブの皆さんからご寄付

2018年中は、誠にありがとうございました。

つながる、ウィズ広島賛助会の活動

祖母、祖父が亡くなったころ、私の存在はないものと無視された。
だから葬式にも出れなかった。行けば良かったと、今は思っている。
だから葬儀場とか介護の仕事に目がいくのかな。

退所者のカウンセリング記録から



ウィズ広島賛助会総会で挨拶する迫谷会長

2018（平成30）年度登録会員 **164** 会員

会費収入 **182万4,000**円

2018（平成30）年12月31日現在

2018（平成30）年6月1日から12月31日までの会費をお預かりした状況をご報告し、お礼を申し上げます。

ウィズ広島賛助会会長 **迫谷 富三**

【個人会員】

幟建末子、平口さとみ、久保加代子、宇恵一枝、田中武子、藤島秀孝、沓内光子、神田ミチエ、曾川恵二、川后昭子、山本隆照、石森雄一郎、新宅典明、本西 隆、竹本恭子、堀江洋治、古屋由利子、田部恭子、小岩和子、中本忠子、田村美代子、西 民恵、大田美穂子、松本則正、鴨下康子、加藤順子、大上ヨシエ、中島和雄、松本友江、森平悦子、和泉 眞、間所了、菅 和美、坪井静枝、森野敏章、中川武子、迫谷政則、野口真弓、迫谷富三、迫谷浩司、反田哲顕、高藤邦彦、田中裕紀子、能美直哉、相原シゲコ、恵木田鶴子、寺田 博、浅尾典子、浅尾宰正、繁政秀子、山下 隆、前 京子、高羽千尋、大庭操子、慶徳こすえ、西田志都枝、吉川水貴、木村美代子、齋美智江、竹内明子、高浦里美、森実博美、西川照顕、吉田廣、河井克行、河井あんり、楠本次子、木元千鶴、野村コズエ、土井壽美子、山口裕子、松浦和子、鎌田節子、西田文子、畠山昭雄、野村富子

【企業会員】

(株) 広島ゴルフショップ、(株) 本多、(有) 共伸家具製作所、境谷工業(株)、(株) 島田鉄工所、錦建設(株)、(有) 果青園サワダ、(有) 森國商会、山陽空調工業(株)、(株) 福正建設、アイテレコムサービス(株)、(株) チューゲイ、(有) 田中剛産業、三菱電機ビルテクノサービス(株)、(株) さこたに、水主町食糧企業組合、(株) 大田鑄造所、(株) Fukahori、(株) MTGマネジメント、(株) 山工

【更生保護女性会・保護司会会員】

東広島地区東広島支部更生保護女性会、呉地区保護司会、安芸地区保護司会、三原地区保護司会、福山地区更生保護協会、福山地区保護司会、竹原・大崎上島地区保護司会、山県地区保護司会、廿日市地区保護司会、安佐北地区保護司会、安芸高田地区保護司会、西地区保護司会、東地区保護司会、東広島地区保護司会、尾道地区保護司会、三次地区保護司会、広島安芸地区保護司会、中地区保護司会、安佐南地区保護司会、広島安芸地区更生保護女性会、府中地区保護司会、安佐北地区更生保護女性会、東地区更生保護女性会、大竹地区保護司会、福山地区更生保護女性会、庄原地区保護司会、山県地区更生保護女性会、竹原・大崎上島地区更生保護女性会、庄原地区更生保護女性会、府中地区更生保護女性会、尾道地区更生保護女性会、安芸地区更生保護女性会、広島佐伯地区保護司会、南地区更生保護女性会、呉地区更生保護女性会、安芸高田地区更生保護女性会、三原地区更生保護女性会、東広島地区更生保護女性会、大竹地区更生保護女性会、安佐南地区更生保護女性会、広島佐伯地区更生保護女性会、西地区更生保護女性会

■ウィズ賛助会役員

【会長】 迫谷富三 【副会長】 林 千秋、反田哲顕 【理事】 先小山英夫、深堀 勝、井町重遠、宇恵一枝

【監事】 堀江洋治、山本隆照

以 上